

# 通期の見通し(2018年3月期)

## 売上収益

**2,540億円** 前期比 **3.8%増**

2017年2月から薬価が50%引き下げられた「オブジーボ点滴静注」の売上は前期比約200億円減少が見込まれますが、ロイヤルティ収入の大幅増と「カiproリス点滴静注用」や「パーサビブ静注透析用」などの主要新製品の売上拡大を見込んでおり、通期の売上収益は、前期比92億円(3.8%)増の2,540億円を予想しています。

## 営業利益

**500億円** 前期比 **30.8%減**

売上原価は、製品商品の売上減に伴い、減少する見込みです。研究開発費は持続的成長への積極的な投資により増加見込みです。販売費及び一般管理費は「オブジーボ点滴静注」などの営業経費や安全性情報管理に関わる経費が増加すると見込んでおり、通期の営業利益は、前期比223億円(30.8%)減の500億円を予想しています。

## 税引前当期利益

**530億円** 前期比 **28.9%減**

金融収支は前期比2億円増加の30億円を見込んでおり、通期の税引前当期利益は、前期比215億円(28.9%)減の530億円を予想しています。

## 親会社の所有者に帰属する当期利益

**395億円** 前期比 **29.2%減**

税引前当期利益が215億円減少することを見込んでいることから、通期の親会社所有者帰属分の当期利益は、前期比163億円(29.2%)減の395億円を予想しています。